

大鹿村中央構造線博物館たより 201号



2026年2月発行

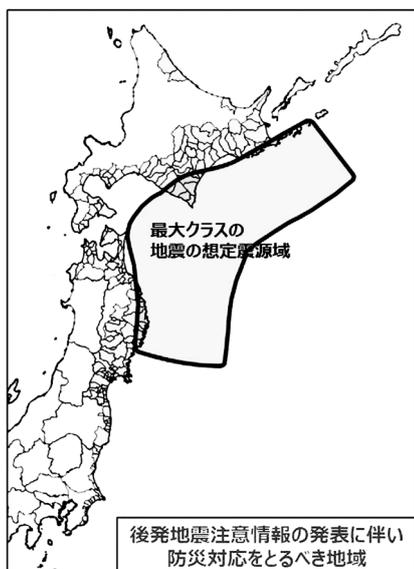
TEL: (0265) 39-2205
staff69@mtl-muse.com

はじめての「北海道・三陸沖後発地震注意情報」

2025年12月8日23時15分に青森県東方沖でマグニチュード7.5の地震が発生し、青森県八戸市で最大震度6強の揺れを観測しました。この地震を受けて、気象庁から「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されました。これは、2022年12月16日に「北海道・三陸沖後発地震注意情報」発信の運用が開始されてから、初めての事です。そこで、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」とは一体どんな情報なのか、概要を記したいと思います。内閣府Webページ内の「北海道・三陸沖後発地震注意情報の解説ページ」のところにリーフレットやマンガが載せてありますので、そちらも参照してみてください(*1)。

日本海溝・千島海溝沿いの領域で規模の大きな地震が発生すると、その地震の影響を受けて新たな大規模地震が発生する可能性が相対的に高まると考えられています。このため、北海道の根室沖から東北地方の三陸沖の巨大地震の想定震源域(図1)及び想定震源域に影響を与える外側のエリア(*2)でMw7.0以上の地震が発生した場合、数時間後に気象庁から「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表することになりました。「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されると、1週間は特別な注意を呼びかける期間となり、1週間が経過すると、内閣府から後発地震に注意する期間が終わった旨の発表を出すことになりました。しかしながら、1週間が経過したからといって、大規模地震の発生の可能性がなくなったわけではないので、引き続き平時からの地震への備えを徹底することは必要です。

この「北海道・三陸沖後発地震注意情報」に伴い防災対応をとるべきエリアは、震度6弱以上の揺れ、または津波高3m以上の津波が想定される地域であり、北海道から千葉県までの広い範囲に及んでいます(図1)。大鹿村はこの情報に伴って防災対応をとるべきエリアではありませんが、旅行や帰省などでエリア内に行かれることもあるかもしれませんので、頭の片隅に入れておかれると良いかと思います。



なお、気象庁が発表する情報のうち特定の巨大地震に備える特別な情報は、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」のほかに、「南海トラフ地震関連情報」があります。「南海トラフ地震関連情報」の概要については、博物館たより184号に掲載してありますが、こちらは大鹿村も対象エリアとなっています。(宮崎)

(*1) 内閣府Webページ内の「北海道・三陸沖後発地震注意情報の解説ページ」https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko_chishima/hokkaido/index.html

(*2) 想定震源域に影響を与える外側のエリアの詳細については、気象庁Webページ内の「北海道・三陸沖後発地震注意情報」https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/nceq/info_guide.html を参照ください。

図1 北海道の根室沖から東北地方の三陸沖の巨大地震の想定震源域と、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」、の発表に伴い防災対応をとるべき地域

令和7年12月9日02時00分内閣府報道発表資料「北海道・三陸後発地震注意情報について」より引用
https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko_chishima/hokkaido/pdf/251216_siryoy1.pdf